



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 ミツ星ベルト株式会社
コード番号 5192 URL <https://www.mitsuboshi.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 浩
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 辻 政嗣
定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日
有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 078-685-5630

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|------|--------|------|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 82,911 | 10.7 | 9,030 | 18.2 | 10,471 | 22.4 | 7,071 | 10.8 |
| 2022年3月期 | 74,870 | 15.4 | 7,640 | 53.8 | 8,552 | 48.5 | 6,380 | 56.9 |

(注) 包括利益 2023年3月期 8,432百万円 (23.7%) 2022年3月期 11,045百万円 (40.1%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2023年3月期 | 249.12 | | 8.1 | 8.7 | 10.9 |
| 2022年3月期 | 220.26 | | 7.7 | 7.5 | 10.2 |

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 121,682 | 87,601 | 72.0 | 3,089.48 |
| 2022年3月期 | 118,963 | 86,877 | 73.0 | 3,018.44 |

(参考) 自己資本 2023年3月期 87,601百万円 2022年3月期 86,877百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2023年3月期 | 8,783 | 6,439 | 3,741 | 33,494 |
| 2022年3月期 | 9,044 | 7,380 | 3,245 | 33,063 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2022年3月期 | | 33.00 | | 110.00 | 143.00 | 4,127 | 64.9 | 5.0 |
| 2023年3月期 | | 120.00 | | 130.00 | 250.00 | 7,088 | 100.4 | 8.2 |
| 2024年3月期(予想) | | 125.00 | | 125.00 | 250.00 | | 99.8 | |

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-----|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 42,500 | 0.2 | 4,300 | 6.5 | 4,400 | 23.2 | 3,200 | 18.4 | 112.86 |
| 通期 | 84,500 | 1.9 | 9,100 | 0.8 | 9,300 | 11.2 | 7,100 | 0.4 | 250.40 |

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年3月期 | 32,604,198 株 | 2022年3月期 | 32,604,198 株 |
| 期末自己株式数 | 2023年3月期 | 4,249,432 株 | 2022年3月期 | 3,822,063 株 |
| 期中平均株式数 | 2023年3月期 | 28,386,768 株 | 2022年3月期 | 28,968,774 株 |

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|-------|--------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 46,773 | 8.3 | 4,126 | 113.7 | 10,644 | 64.0 | 8,897 | 60.1 |
| 2022年3月期 | 43,202 | 18.3 | 1,931 | 415.2 | 6,490 | 44.1 | 5,556 | 27.3 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 313.42 | |
| 2022年3月期 | 191.80 | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|--------|---|--------|------|--------|---|----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 2023年3月期 | 90,718 | | 56,824 | 62.6 | | | 2,004.06 | |
| 2022年3月期 | 91,481 | | 56,692 | 62.0 | | | 1,969.72 | |

(参考) 自己資本 2023年3月期 56,824百万円 2022年3月期 56,692百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (セグメント情報) | 12 |
| (1株当たり情報) | 14 |
| (重要な後発事象) | 14 |
| 4. その他 | 14 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和や解除が進み、回復基調にて推移いたしました。一方、サプライチェーンの混乱やロシアによるウクライナ侵攻の長期化による原材料・エネルギー価格の高騰、インフレ抑制による金利の上昇、急激な円の為替変動など経済の先行きは、依然として不透明で予断を許さない状況が続いております。

このような環境のなか、2022年5月に'21中期経営計画（2021年度～2023年度）の見直しを行い、変化にぶれない強い企業体質の確立を目指し、財務体質の強化から資本効率の向上へと進化を図り、収益向上とバランスシート改善に取り組んでおります。

以上の結果、当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高82,911百万円（前連結会計年度比10.7%増）、営業利益9,030百万円（前連結会計年度比18.2%増）、経常利益10,471百万円（前連結会計年度比22.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は7,071百万円（前連結会計年度比10.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[国内ベルト]

自動車用ベルトの売上高は、二輪車用補修向けではユーザによる在庫調整に伴い減少したものの、四輪車用システム製品やバス・トラック補修向けの増加に伴い、全体では増加しました。

一般産業用ベルトの売上高は、射出成形機向けが好調に推移したものの、ユーザでの部品調達難の影響もあり、全体では微減となりました。

一方、搬送ベルトの売上高は、食品業界向けの需要回復や物流大型施設向けの好調な販売により増加しました。また、合成樹脂素材の売上高についても需要回復に加え、キャストナイロン等の主力製品の拡販により増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は28,300百万円（前連結会計年度比1.9%増）、セグメント利益は9,172百万円（前連結会計年度比27.5%増）となりました。

[海外ベルト]

自動車用ベルトの売上高は、二輪車・多用途四輪車向けでは米国補修市場での在庫調整の影響を受け減少しましたが、四輪車用では東南アジア、欧州を中心に堅調に推移した結果、全体では増加しました。

一般産業用ベルトの売上高は、農業機械向けは微減しましたが、その他分野にて需要拡大、拡販活動の結果、東南アジアや欧米にて増加しました。

また、OA機器用ベルトの売上高についても、半導体不足の解消により増加となりました。

以上の結果、為替の円安影響もあり、当セグメントの売上高は44,246百万円（前連結会計年度比21.3%増）、セグメント利益は3,458百万円（前連結会計年度比10.1%減）となりました。

[建設資材]

建築部門は新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和により公共物件を中心に改修工事の需要回復により売上高が増加しました。土木部門では工事物件数は前年並みとなりましたが、規模の縮小により売上高は減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は5,149百万円（前連結会計年度比4.0%減）、セグメント利益は204百万円（前連結会計年度比49.5%増）となりました。

[その他]

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、電子材料、仕入商品などが含まれております。

その他の売上高は5,215百万円（前連結会計年度比0.5%減）、セグメント利益は160百万円（前連結会計年度比35.3%減）となりました。

(注) 上記の各セグメントにおける売上高は外部顧客への売上高を記載しており、セグメント利益はセグメント間取引消去前の金額を記載しております。

なお、セグメント利益は、営業利益ベースの数値であります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産、負債、純資産の状況)

当連結会計年度末は、投資有価証券の減少等により固定資産が72百万円減少したものの、棚卸資産の増加等により流動資産が2,791百万円増加したことから、総資産は前連結会計年度末比2,719百万円増加の121,682百万円となりました。

負債は、未払法人税等の減少等により流動負債が353百万円減少したものの、長期借入金の増加等により固定負債が2,349百万円増加したことから、前連結会計年度末比1,995百万円増加の34,081百万円となりました。

純資産は、自己株式が1,164百万円増加したものの、その他の包括利益累計額が1,360百万円増加した結果、前連結会計年度末比724百万円増加の87,601百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の73.0%から72.0%となりました。

前連結会計年度との比較は下記のとおりであります。

(単位：百万円)

| | 当連結会計年度末 | 前連結会計年度末 | 増 減 |
|-------------|-----------|-----------|--------|
| 総 資 産 | 121,682 | 118,963 | 2,719 |
| 純 資 産 | 87,601 | 86,877 | 724 |
| 自 己 資 本 比 率 | 72.0% | 73.0% | △1.0% |
| 1株当たり純資産額 | 3,089円48銭 | 3,018円44銭 | 71円 4銭 |

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比較して261百万円減少の8,783百万円の収入となりました。主な要因は、前連結会計年度と比較して税金等調整前当期純利益が1,074百万円増加した反面、法人税等の支払額が2,351百万円増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比較して941百万円増加の6,439百万円の支出となりました。主な要因は、前連結会計年度と比較して定期預金の預入による支出が1,550百万円増加した反面、定期預金の払戻による収入が2,131百万円増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比較して496百万円減少の3,741百万円の支出となりました。主な要因は、前連結会計年度と比較して長期借入れによる収入が5,000百万円増加した反面、自己株式の取得による支出が525百万円増加したことに加え、配当金の支払額が4,735百万円増加したことによるものです。

営業、投資、財務の各活動によるキャッシュ・フローの合計額に為替換算差額1,827百万円を加算し、現金及び現金同等物の増加額が430百万円となり、これに期首残高33,063百万円を加算した結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は33,494百万円となりました。

前連結会計年度との比較は下記のとおりであります。

(単位：百万円)

| | 当連結会計年度 | 前連結会計年度 | 増 減 |
|------------------|---------|---------|------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 8,783 | 9,044 | △261 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,439 | △7,380 | 941 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,741 | △3,245 | △496 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 33,494 | 33,063 | 431 |

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

| | 2019年 3月期 | 2020年 3月期 | 2021年 3月期 | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 自己資本比率 | 70.4% | 71.1% | 72.4% | 73.0% | 72.0% |
| 時価ベースの自己資本比率 | 57.9% | 35.1% | 47.9% | 49.0% | 91.7% |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 | 1.0年 | 1.0年 | 0.6年 | 0.5年 | 1.0年 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ | 439.3倍 | 137.0倍 | 144.0倍 | 206.5倍 | 176.5倍 |

(注) 自己資本比率 : 自己資本(純資産の部合計-非支配株主持分) / 総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利払い

- ※ 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
 2. 株式時価総額は、連結会計年度末株価終値×連結会計年度末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
 3. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

インフレと金融不安による信用収縮、地政学的リスクの高まりなど、世界経済の成長を鈍化させる複合的な不安が世界全体に広がっており、依然として予断を許さない状況が続くものと思われま。

このような環境の中、中期経営計画最終年度となる2023年度は、2030年度の「ありたい姿」の実現に向けた基盤強化期間として収益性、資本効率性、設備投資額、株主還元、ESGの各々にKPIを設定し、これらの達成に向け取り組んでまいります。

2024年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は84,500百万円(前連結会計年度比1.9%増)、営業利益は9,100百万円(前連結会計年度比0.8%増)、経常利益は9,300百万円(前連結会計年度比11.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は7,100百万円(前連結会計年度比0.4%増)を見込んでおります。

〔前提条件〕

主な為替レートは、130円/米ドル、142円/ユーロで計画を策定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは将来における国際会計基準の適用に備え、グループ会社の決算期統一を終え、引き続き決算の早期化等の取組みを行っております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 34,708 | 35,307 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 17,788 | 16,657 |
| 商品及び製品 | 15,324 | 17,395 |
| 仕掛品 | 2,115 | 2,513 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,892 | 4,368 |
| その他 | 833 | 1,188 |
| 貸倒引当金 | △123 | △100 |
| 流動資産合計 | 74,540 | 77,331 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 23,801 | 24,059 |
| 減価償却累計額 | △16,471 | △16,734 |
| 建物及び構築物 (純額) | 7,329 | 7,325 |
| 機械装置及び運搬具 | 49,815 | 50,360 |
| 減価償却累計額 | △40,699 | △41,501 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 9,115 | 8,859 |
| 工具、器具及び備品 | 15,667 | 16,071 |
| 減価償却累計額 | △13,613 | △14,078 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 2,054 | 1,993 |
| 土地 | 3,958 | 3,978 |
| リース資産 | 1,725 | 1,870 |
| 減価償却累計額 | △316 | △367 |
| リース資産 (純額) | 1,409 | 1,503 |
| 建設仮勘定 | 2,804 | 4,738 |
| 有形固定資産合計 | 26,671 | 28,399 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 823 | 601 |
| その他 | 67 | 189 |
| 無形固定資産合計 | 891 | 791 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 15,179 | 13,597 |
| 繰延税金資産 | 1,205 | 1,148 |
| その他 | 493 | 422 |
| 貸倒引当金 | △18 | △8 |
| 投資その他の資産合計 | 16,860 | 15,160 |
| 固定資産合計 | 44,423 | 44,351 |
| 資産合計 | 118,963 | 121,682 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,898 | 9,889 |
| 短期借入金 | 2,327 | 2,329 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 900 | 1,900 |
| 未払金 | 2,646 | 1,982 |
| 未払法人税等 | 1,576 | 201 |
| 賞与引当金 | 928 | 974 |
| 製品保証引当金 | 508 | 477 |
| その他 | 3,429 | 4,107 |
| 流動負債合計 | 22,215 | 21,862 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 900 | 4,000 |
| 長期未払金 | 162 | 142 |
| 繰延税金負債 | 5,206 | 4,644 |
| 退職給付に係る負債 | 2,226 | 1,948 |
| 役員退職慰労引当金 | 13 | 16 |
| 資産除去債務 | 363 | 363 |
| 長期預り保証金 | 386 | 393 |
| その他 | 610 | 710 |
| 固定負債合計 | 9,870 | 12,219 |
| 負債合計 | 32,086 | 34,081 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,150 | 8,150 |
| 資本剰余金 | 2,119 | 2,143 |
| 利益剰余金 | 70,315 | 70,818 |
| 自己株式 | △6,395 | △7,559 |
| 株主資本合計 | 74,188 | 73,552 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,368 | 8,310 |
| 為替換算調整勘定 | 3,344 | 5,785 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △25 | △48 |
| その他の包括利益累計額合計 | 12,688 | 14,048 |
| 純資産合計 | 86,877 | 87,601 |
| 負債純資産合計 | 118,963 | 121,682 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 74,870 | 82,911 |
| 売上原価 | 51,442 | 56,338 |
| 売上総利益 | 23,427 | 26,572 |
| 販売費及び一般管理費 | 15,787 | 17,542 |
| 営業利益 | 7,640 | 9,030 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 92 | 281 |
| 受取配当金 | 365 | 397 |
| 為替差益 | 627 | 556 |
| その他 | 262 | 688 |
| 営業外収益合計 | 1,347 | 1,924 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 43 | 51 |
| 固定資産除却損 | 276 | 307 |
| その他 | 114 | 125 |
| 営業外費用合計 | 435 | 484 |
| 経常利益 | 8,552 | 10,471 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 187 | 39 |
| 特別利益合計 | 187 | 39 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 695 |
| 特別損失合計 | — | 695 |
| 税金等調整前当期純利益 | 8,740 | 9,814 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,721 | 2,815 |
| 法人税等調整額 | △361 | △72 |
| 法人税等合計 | 2,359 | 2,742 |
| 当期純利益 | 6,380 | 7,071 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 6,380 | 7,071 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 6,380 | 7,071 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,385 | △1,058 |
| 為替換算調整勘定 | 3,097 | 2,441 |
| 退職給付に係る調整額 | 182 | △22 |
| その他の包括利益合計 | 4,665 | 1,360 |
| 包括利益 | 11,045 | 8,432 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 11,045 | 8,432 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 8,150 | 2,111 | 65,768 | △5,788 | 70,241 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,833 | | △1,833 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 6,380 | | 6,380 |
| 自己株式の取得 | | | | △679 | △679 |
| 自己株式の処分 | | 7 | | 72 | 80 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 7 | 4,547 | △607 | 3,947 |
| 当期末残高 | 8,150 | 2,119 | 70,315 | △6,395 | 74,188 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|----------|------------------|-------------------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | |
| 当期首残高 | 7,983 | 247 | △207 | 8,023 | 78,264 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △1,833 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 6,380 |
| 自己株式の取得 | | | | | △679 |
| 自己株式の処分 | | | | | 80 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 1,385 | 3,097 | 182 | 4,665 | 4,665 |
| 当期変動額合計 | 1,385 | 3,097 | 182 | 4,665 | 8,612 |
| 当期末残高 | 9,368 | 3,344 | △25 | 12,688 | 86,877 |

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 8,150 | 2,119 | 70,315 | △6,395 | 74,188 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △6,568 | | △6,568 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 7,071 | | 7,071 |
| 自己株式の取得 | | | | △1,204 | △1,204 |
| 自己株式の処分 | | 24 | | 40 | 65 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 24 | 503 | △1,164 | △636 |
| 当期末残高 | 8,150 | 2,143 | 70,818 | △7,559 | 73,552 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|----------|------------------|-------------------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | |
| 当期首残高 | 9,368 | 3,344 | △25 | 12,688 | 86,877 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △6,568 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 7,071 |
| 自己株式の取得 | | | | | △1,204 |
| 自己株式の処分 | | | | | 65 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △1,058 | 2,441 | △22 | 1,360 | 1,360 |
| 当期変動額合計 | △1,058 | 2,441 | △22 | 1,360 | 724 |
| 当期末残高 | 8,310 | 5,785 | △48 | 14,048 | 87,601 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 8,740 | 9,814 |
| 減価償却費 | 3,867 | 4,104 |
| 減損損失 | — | 695 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 13 | △34 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 231 | △445 |
| 長期末払金の増減額 (△は減少) | △30 | △20 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △12 | 2 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 9 | 20 |
| 受取利息及び受取配当金 | △457 | △679 |
| 支払利息 | 43 | 51 |
| 為替差損益 (△は益) | △124 | △95 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | △2 | 6 |
| 有形固定資産除却損 | 276 | 307 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △187 | △39 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △921 | 1,949 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △1,688 | △2,036 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 175 | △632 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △68 | 572 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | 97 | △360 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 529 | △281 |
| その他 | △3 | △536 |
| 小計 | 10,488 | 12,363 |
| 利息及び配当金の受取額 | 457 | 679 |
| 利息の支払額 | △43 | △49 |
| 法人税等の支払額 | △1,857 | △4,208 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 9,044 | 8,783 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,496 | △3,046 |
| 定期預金の払戻による収入 | 5 | 2,136 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △6,058 | △5,600 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 32 | 69 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △4 | △5 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 226 | 50 |
| その他 | △84 | △43 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △7,380 | △6,439 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △0 | 2 |
| 長期借入れによる収入 | — | 5,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △900 | △900 |
| 自己株式の取得による支出 | △679 | △1,204 |
| 配当金の支払額 | △1,833 | △6,568 |
| その他 | 168 | △70 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,245 | △3,741 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 904 | 1,827 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △677 | 430 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 33,741 | 33,063 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 33,063 | 33,494 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ベルト、建設資材等の製造及び販売等の事業活動を行っており、ベルトは、国内においては当社及び国内連結子会社が、海外においては海外連結子会社がそれぞれ担当しており、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。建設資材は、取り扱う製品について主として国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループのベルト事業は、製造・販売体制を基礎として地域別のセグメントから構成され、建設資材事業は事業部を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「国内ベルト事業」、「海外ベルト事業」及び「建設資材事業」の3つを報告セグメントとしております。

「国内ベルト事業」は、日本国内で主として自動車用ベルト・一般産業用ベルト・農業機械用ベルト・搬送ベルトなどを製造・販売しております。「海外ベルト事業」は、海外で主として自動車用ベルト・一般産業用ベルト・農業機械用ベルト・OA機器用ベルトなどを製造・販売しております。「建設資材事業」は、建築用防水シート・土木用遮水シート及び関連製品を製造・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のための会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 連結損益 計算書 計上額 (注3) |
|------------------------|-----------|-----------|-------|---------|-------------|---------|-------------|----------------------------|
| | 国内 ベルト | 海外 ベルト | 建設資材 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 27,774 | 36,488 | 5,363 | 69,627 | 5,242 | 74,870 | — | 74,870 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 11,163 | 1,784 | 0 | 12,948 | 1,771 | 14,720 | △14,720 | — |
| 計 | 38,938 | 38,273 | 5,364 | 82,576 | 7,014 | 89,591 | △14,720 | 74,870 |
| セグメント利益 | 7,192 | 3,847 | 136 | 11,177 | 248 | 11,425 | △3,784 | 7,640 |
| セグメント資産 | 62,972 | 49,547 | 2,600 | 115,119 | 5,749 | 120,868 | △1,904 | 118,963 |
| その他の項目 | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 1,874 | 1,525 | 34 | 3,435 | 80 | 3,516 | 351 | 3,867 |
| 有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 | 2,735 | 1,248 | 19 | 4,004 | 156 | 4,160 | 186 | 4,347 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△3,784百万円には、セグメント間取引消去△46百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,738百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額△1,904百万円には、セグメント間の債権の相殺消去△16,959百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産32,504百万円及びセグメント間の投資の相殺消去等△17,448百万円が含まれております。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額186百万円には、本社部門の設備投資額264百万円、親会社から海外関係会社への設備売上に係る未実現利益の消去額△77百万円が含まれております。

3 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 連結損益 計算書 計上額 (注3) |
|------------------------|-----------|-----------|-------|---------|-------------|---------|-------------|----------------------------|
| | 国内 ベルト | 海外 ベルト | 建設資材 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 28,300 | 44,246 | 5,149 | 77,696 | 5,215 | 82,911 | — | 82,911 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 13,871 | 2,042 | 2 | 15,916 | 2,225 | 18,142 | △18,142 | — |
| 計 | 42,171 | 46,289 | 5,151 | 93,613 | 7,440 | 101,053 | △18,142 | 82,911 |
| セグメント利益 | 9,172 | 3,458 | 204 | 12,835 | 160 | 12,996 | △3,965 | 9,030 |
| セグメント資産 | 58,548 | 54,783 | 2,271 | 115,603 | 5,794 | 121,397 | 284 | 121,682 |
| その他の項目 | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 1,903 | 1,808 | 25 | 3,737 | 77 | 3,815 | 288 | 4,104 |
| 有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 | 2,047 | 1,398 | 38 | 3,484 | 132 | 3,617 | 21 | 3,638 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、電子材料、サービス事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△3,965百万円には、セグメント間取引消去△204百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,761百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額284百万円には、セグメント間の債権の相殺消去△14,157百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産32,472百万円及びセグメント間の投資の相殺消去等△18,029百万円が含まれております。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額21百万円には、本社部門の設備投資額166百万円、親会社から海外関係会社への設備売上に係る未実現利益の消去額△144百万円が含まれております。

3 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

| 項目 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|------------|-----------|-----------|
| 1株当たり純資産額 | 3,018円44銭 | 3,089円48銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 220円26銭 | 249円12銭 |

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|-------------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額(百万円) | 86,877 | 87,601 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円) | — | — |
| 普通株式に係る期末の純資産額(百万円) | 86,877 | 87,601 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株) | 28,782 | 28,354 |

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|---------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 6,380 | 7,071 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円) | 6,380 | 7,071 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 28,968 | 28,386 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動(2023年6月29日付)

(1) 代表取締役の異動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の異動

退任予定取締役

取締役兼専務執行役員 山口 良雄 (退任後、当社顧問に就任予定)